

諫早湾潮受堤防開門調査と有明海異変問題

「有明海における環境変化の解明と予測プロジェクト」中間報告シンポジウム

主催：佐賀大学低平地沿岸海域研究センター

開催日時：2012年3月17日 13:00～17:15

場所：佐賀大学工学部6号館1F都市工学科大講義室



コンビナー：濱田孝治（佐賀大学低平地沿岸海域研究センター）

コーディネーター：藤井直紀（佐賀大学低平地沿岸海域研究センター）

開催趣旨

2011年12月に福岡高裁において、諫早湾潮受堤防の5年間の開門調査を行うことが確定しました。開門調査によって、有明海異変問題の解消への期待がある一方、諫早湾の一時的な環境悪化に対する懸念、営農地への塩害に対する懸念などもあり、そのために地元では深刻な意見の対立があります。現在、諫早湾の問題を含めてこの先有明海をどのように保全し、どのように利用していくかについてのビジョンも見えていません。

佐賀大学低平地沿岸海域研究センターでは、2011年より、「有明海における環境変化の解明と予測プロジェクト」を行っており、有明海の異変問題について継続的な研究を進めるとともに、今回の開門調査に向けて調査、研究を行っています。

本シンポジウムでは、佐賀大学での取り組みの中間報告を兼ねて、開門後の現時点での環境変化予測、今後の取り組み課題、地元民の合意形成に向けた社会科学的研究課題等について発表し、諫早湾を含めて有明海の今後のあり方について考えたいと思います。

次第

(開場:12:30, 開始:13:00)

13:00-13:05 開会挨拶
13:05-13:20 趣旨説明(速水祐一)

第1部 諫早湾干拓潮受堤防開門調査にむけて

(司会: 藤井直紀)

13:20-15:10

調整湾・調整池の底質調査	(日野剛徳)
諫早湾・調整池における底質の栄養塩分布	(手塚公裕)
開門による環境への影響の数値シミュレーション	(濱田孝治)
有明海奥部のモニタリング	(片野俊也)
紛争処理とリスクコミュニケーション	(檜澤秀木)

15:10-15:50 休憩・ポスターセッション

第2部 パネルディスカッション

(司会 速水祐一)

15:50-17:10
テーマ:これから有明海はどうなるのか?

17:10-17:15 閉会挨拶

ポスター展示

シンポジウム開催中、「有明海における環境変化の解明と予測プロジェクト」研究中間報告のポスター発表を行います。併せてご覧ください。シンポジウム開会前30分間、休憩時間40分間、シンポジウム閉会后30分間をポスター発表時間としています。



交通案内

佐賀駅バスセンターからバスで約20分
「4番のりば」から市営バス11番 相応行 又は12番 東与賀行で「佐大前」下車
「4番のりば」から市営バス63番 佐賀大学・女子短大前行で「佐大前」下車
佐賀駅からタクシーで約15分
佐賀空港からタクシーで約20分

お問合せ

〒840-8502
佐賀県佐賀市本庄町1番地
佐賀大学低平地沿岸海域研究センター事務室
TEL (0952) 28 - 8846
URL <http://www.ilt.saga-u.ac.jp>

